

杏林大学医学部付属病院における「経鼻高流量酸素療法導入が、 間質性肺炎に対する治療に与えた影響」の実態調査について

- ・当教室では、杏林大学医学部倫理委員会の承認を得て、当院呼吸器内科に間質性肺炎の診断で入院され、で経鼻高流量酸素療法をお受けになった患者さんを対象に、実施状況につき後ろ向き調査を実施します。
- ・本研究の調査期間は倫理委員会承認後から 2017 年 3 月までの予定です。
- ・本研究は、治療介入を行わない「後ろ向き調査」で既存資料を用いた研究であるため、本研究のために、新たに人体資料は採取しません。
- ・個人が同定されうる情報は収集いたしません。
- ・本研究に関する問い合わせ、苦情、研究への不参加、参加取りやめを希望される方は、下記までご一報くださいますようお願いいたします。研究への不参加、参加を取りやめた場合は、研究代表者に連絡され、情報は削除されます。